



理事会・評議員会報告 -役員改選で新理事長就任-

下記の通り、理事会（8/21 開催・書面）および定時評議員会（9/6 開催）を開催しました。

第二十回理事会 議長：小沢一彦理事長 出席者：理事 27 人 監事 2 人 列席者 3 人

【主な議題】評議員後任候補者、理事・監事候補者、2017 年度事業報告および附属明細書、2017 年度計算書類、2018 年度収支予算書一部修正、専門委員選任、定時評議員会招集など：原案通り承認

第九回評議員会 議長：仲田昌弘評議員 出席者：評議員 20 人 常務理事・監事 8 人 列席者 1 人

【主な議題】定款変更、2018 年度評議員の選任、2018 年度理事・監事の選任、2017 年度計算書類承認など：原案通り承認

理事会および評議員会の前には、直前 R I 理事としてご列席の齋藤直美氏から「米山記念奨学会の意義」について、また、(公財) 米山梅吉記念館理事長であり、当会評議員である積惟貞氏から「米山梅吉記念館創立 50 周年記念事業」についてのお話をいただきました。各会議終了後には、それぞれ退任される理事、評議員への感謝状贈呈を行いました。また、両会議において、任期満了で理事長を退く小沢一彦氏から最後のごあいさつを頂きました。評議員会終了後のセレモニーでは、齋藤直美氏から小沢一彦氏に感謝状が贈呈されました。



小沢前理事長(左)と齋藤新理事長

第二十一回理事会

評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、右記の役員が選定されました。

理事長：	齋藤直美氏 (2760)	
副理事長：	埴 東男氏 (2820)	若林紀男氏 (2660)
常務理事：	武田和夫氏 (2800)	山崎淳一氏 (2830)
	水野 功氏 (2750)	滝澤功治氏 (2680)
名誉理事長：	小沢一彦氏 (2780)	

GETS でよねやま親善大使がスピーチ

9月3日～4日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナー (GETS) の2日目午後・閉会本会議において、当会の小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。小沢理事長はこの4年を振り返り、「米山ほどロータリーのためになり、平和のためになるプログラムはない。ぜひこの奨学事業に参画していただきたい」と、ガバナーエレクトにメッセージを送りました。

続く「学友3名のスピーチ」のセッションでは、ロータリー財団 (グローバル補助金) 学友と ROTEX 学友と共に、よねやま親善大使のアブデルアール・アハメドさんが登壇し、「米山奨学

生に選ばれて～奇跡の出会い～」と題してスピーチしました。母国エジプトの紹介をはじめ、「誰がカウンセラーかわからないくらい、皆さんにお世話になった」という世話クラブとの交流、研究の傍ら尽力する、日本の子どもたちへの異文化交流活動についての思いなどを語りました。アハメドさんならではの、ユーモアたっぷりのスピーチに会場は何度も笑いに包まれ、終わりには大きな拍手が送られました。



寄付金速報 - 10月の米山月間に向けて -

8月までの寄付金は前年同期と比べて0.7%減（普通寄付金:1.4%増、特別寄付金:4.4%減）となりました。昨年1千万円の大口寄付をいただいたこともあり、前年度比では多少減少したものの、直近15年間では2番目に高い寄付累計額となりました。心より厚く御礼申し上げます。

当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。今年度もぜひご協力ください。詳細は当会ホームページをご覧くださいませよう、よろしく願いいたします。

2地区協同で一級河川の清掃活動

9月1日、柿田川湧水公園の清掃奉仕活動が行われ、第2620地区（山梨・静岡）と第2580地区（東京）の奨学生・ロータリアン、第2620地区米山学友会、同地区インターアクトなど、合わせて約150人が参加しました。

この活動はもともと沼津柿田川RCが長年続けていたもので、4年前から地区の活動となりました。また、奨学生を連れた研修旅行で毎年米山梅吉記念館を訪れていた第2580地区では、当時の地区米山奨学委員長の働き掛けもあり、第2620地区と協同でこの柿田川湧水公園清掃活動を行



行うことになったとのことです。

米山奨学生やローターアクトたちは、胸までの胴付き長靴を着用し、冷たい川の中に入って外来植物を除去したり、公園内の草むしりをして、汗をかきながら清流の維持に一役買いました。

台湾学友会による日本人への奨学金が10年目

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」が設立10年目を迎えました。6月末の締切までに19人の応募があり、台湾米山学友会理事会による選考の結果、過去

最多となる5人の合格が決定しました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約90,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



山中 彩

国立台南藝術大学大学院、繊維専攻。染色工芸における表現技法



小島 和華子

国立中興大学大学院、生物医学専攻。うつ病患者の痛み知覚緩和



小菅 理沙

国立台湾大学。東アジア地域包括的経済連携における台湾の参加



松葉 隼

国立政治大学大学院。日本統治期における台湾の交通網形成



烏谷 亜紗子

国立屏東科技大学大学院、農園生産専攻。AI式改良SRI水稲栽培